

令和 3 年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	令和 4 年 3 月 1 1 日 (金) 於：航空自衛隊那覇基地
委員	矢吹 哲哉(委員長：琉球大学名誉教授) 堤 純一郎(琉球大学名誉教授) (五十音順) 仲里 豪 (弁護士) 原田 泰人(公認会計士) 山城 勝 (元沖縄県経営者協会常務理事)

I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和 3 年 1 0 月 1 日 ～ 令和 3 年 1 2 月 3 1 日	
審議対象件数	8 0 件	
1. 入札状況について (入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	6 件	(審議概要)
建設工事	一般競争	2 件
	一般競争 (政府調達協定対象外)	件
	指名競争	件
	随意契約	件
建設コンサルタント業務等	4 件	
	意見・質問	回答
●委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【契約状況・指名停止状況・低入札価格調査状況について】 工事 一般競争入札 与那国 (3) 鉄塔新設土木工事 ● 1 者応募、1 者応札となった原因は何か。	○ 本工事は与那国島という遠隔離島地域での工事であること、地元与那国島の有資格者が少数であったことから、参加者数が少なくなることが見込まれたため、競争参加資格の等級区分を上位の A ランクまで広げて公告したが、結果として 1 者の応募となった。

- 1 回目の入札額と比べて約 25%程度金額を落とし 3 回目の入札で落札となっているが、工事の施工、品質確保の問題はないか。

一般競争入札

嘉手納（3）家族住宅（508）環境整備工事

- 本工事の工事内容について教えて頂きたい。
また、落札率が 68.25%と低くなっているが経費等のうち何れかの項目が特に低い金額になっていたのか。

- 入札参加者 11 者のうち、予定価格の範囲内だったのは 1 者のみで、10 者は調査基準価格以下となっているが、予定価格が高すぎたということはないか。

業務

一般競争入札

久米島外（3）測量調査

- 離島地域での業務であるが参加者が 17 者と比較的多いが沖縄本島、または県外からの業者も多数参加しているのか。
また、この業務には地域評価型は採用されているのか。

一般競争入札

勝連（3）測量調査

- 本業務を含め、測量業務は他の業務と比較して落札率が低い傾向があるように見受けられるが、予定価格の算出方法はどうなっているのか。実

- 1 回目の開札時に予定価格と入札額の乖離が大きい場合、局側の積算と積算内容を比較確認し、必要に応じて応札者へ補足説明を行い再入札を行っている。応札者側も施工可能な金額で再入札に臨んでおり、施工には問題ないと考える。

- 本工事は嘉手納飛行場内の家族住宅の周辺に張芝を行う比較的容易な内容の工事である。
低入札価格調査の際に積算内訳を確認したところ、人件費、機械費、資材購入費が抑制できるということで、直接工事費、共通仮設費ほか全ての項目で局側の積算より低い金額となっていた。

- 予定価格の算定には標準の歩掛を使用しているが、工事内容が芝を張るだけの単純な内容であること、また、本工事の入札に参加している業者が造園業者であり、芝を比較的安価に調達できることから、各者とも経費等を低く抑えた金額で入札を行ったと考えられる。

- 本業務には沖縄本島及び県外からの者が参加しており、地元久米島の業者の参加はなかった。
また、総合評価落札方式ではなく価格競争であるため、地域評価型は採用していない。

- 測量業務の積算に関しては国土交通省が作成している積算基準に基づき行っている。
入札契約状況調書を見ると、予定価格に対して調査基準価格

勢価格との乖離があれば見直す必要があるのではないか。

**一般競争入札
瑞慶覧（R3）家族住宅新設
総合設計**

● 本業務が1者応募となった原因は何が考えられるか。

● 前回の委員会の際に価格評価点と技術評価点の割合について、1：1と言いながら、価格評価点の点数が小さすぎて、これでは1：1とは言えないのではないかという話をしたが、本業務は価格と技術の評価の割合が1：3と、さらに価格評価点の割合が低くなっている。

技術評価点に対し、価格評価点が1%未満にしかならないのでは価格評価点、つまり、入札金額はますます意味を為さないのではないか。

● 技術評価点46.1点に対し、価格評価点が0.059点というのは、価格と技術の割合が1：3とは言っても、価格評価点が小さすぎて按分の率としておかしいのではないか。引き続き本省の方にも強く伝えてもらいたい。

**公募型プロポーザル方式
シュワブ（R3）水域生物等
調査**

● この業務は以前からこの1者のみの応募となっていたと思うが、同種業務の設定内容の基準が高すぎて参入障壁となっているのではないか。
この同種業務の実績のある

以下の者もいれば、予定価格を超過している者もあり、一概に予定価格と実勢価格に乖離があるとは言えないと考える。

○ 本業務は米軍基地キャンプ瑞慶覧内の家族住宅を設計するもので、業務内容において、米軍と日本側の安全基準等を比較検討し住宅の設計を行うという、特殊かつ高度な検討内容が設定されている。

このような条件の業務を履行できる者が少数であったためと考えられる。

○ 前回の委員会でご指摘頂いた内容は本省にも伝えたところである。

今回のご指摘も本省に伝え、引き続き相談していきたい。

○ 承知した。

○ 令和2年度までは同種業務の要件として、南西諸島における海域生物、サンゴ、海藻の3種類の調査全てを実施した実績を有することとしていた。

今年度は幅広く参加者を求め

	<p>者は複数いるが、結果として1者のみの参加となったということか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今年度は同種業務の条件を緩和したものの1者応募になったとのことであった。 今後の発注では参加者が増えるようなさらなる工夫が必要ではないか。 ● 本調査は1者のみで履行しなければならないのか。各々の調査内容を分けて発注することはできないのか。 ● 調査を分割し発注することが難しいことは理解したが、参加者が1者のみの状態が続いている。JVを組んだりすることで、対応はどの者でも可能だと考えるので、今後も検討して頂きたい。 ● 本業務はWTO対象案件ではないのか。海外の調査会社が入ってくる可能性はないのか。 	<p>るため、南西諸島内というのは前年と同じだが、3種類の調査内容のうちいずれか1種類の調査を履行した実績を有していれば参加可能であるという条件に緩和したが、結果1者のみの応募であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き検討していきたい。 ○ 環境等への影響については、調査対象、調査区域の状況等から全体で捉える必要があり、別々の者が受注、履行すると内容にばらつきが生じる恐れがあるため難しいと考える。 ○ 参加者を増やしていくために引き続き検討していきたい。 ○ 防衛省では、平成30年度以降、防衛施設内及び制限水域内はWTOの例外規定を適用し、同種業務を国内実績に限定している。そのため、国内実績を有していない企業は参入できない。
--	--	--

委員会による意見の具申又は勧告	特になし
-----------------	------

2. 談合疑義案件の処理状況について			
	談合疑義件数	0件	(審議概要)
工	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
	意見・質問	回 答	

○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	なし	なし		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし			
3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）				
審議概要	特になし			
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問	回答		
	なし	なし		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし			
4. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数 0 件	（備考）		
建設 工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件	
	指名競争		0 件	
	随意契約		0 件	
建設コンサルタント業務等※	0 件			
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件名	契約方式	内容等
		なし		なし
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答		
	なし	なし		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし			

* 建設コンサルタント業務等の再苦情処理については、公募型プロポーザル契約及び簡易公募型プロポーザル契約方式を除く。

令和3年度 入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和4年3月11日（金） 於：航空自衛隊那覇基地
委員	矢吹 哲哉(委員長：琉球大学名誉教授) 堤 純一郎(琉球大学名誉教授) (五十音順) 仲里 豪 (弁護士) 原田 泰人(公認会計士) 山城 勝 (元沖縄県経営者協会常務理事)

I 航空自衛隊が発注する建設工事等に関する審議

審議対象機関	航空自衛隊	
審議対象期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	
審議対象件数	16件	
1. 入札状況について（入札参加資格の決定、指名及び落札者決定の経緯について）		
抽出件数	1件	(審議概要) ・調達の概要、競争参加資格の設定 及び落札者決定の経緯について
一般競争	1件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
	【一般競争入札】 建具更新工事 ○ 建具更新工事とは具体的に何か。 ○ 落札率が低い理由について。	○ 電動シャッター2か所、アルミ製両扉3か所の更新工事です。 ○ 工事の難度が低く、参入障壁が低いことから複数の応札を予期した落札業者が、落札を優先し低い価格で応札したため、低落札率となったものと考えます。

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関	航空自衛隊	
審議対象期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	
審議対象件数	4, 550件	
1. 入札状況について（入札参加資格の決定、指名及び落札者決定の経緯について）		
抽出件数	5件	(審議概要) ・調達の概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯について
一般競争	5件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
	<p>【一般競争入札】</p> <p>1 臨床検査（那覇）</p> <p>○ 落札業者は、毎年同じか。</p> <p>○ 落札業者は本土の会社だが、役務の履行は沖縄の病院で行っているのか。</p> <p>2 布マスク1500箱（那覇）</p> <p>○ 契約日が令和2年6月12日であり、マスクの価格が高騰している時期であると思われるが、予定価格は平時の価格か。</p> <p>○ 調達要求したマスクは医療用のマスクなのか。</p>	<p>○ いいえ。年度によって落札業者は、異なります。</p> <p>○ いいえ。臨床検査は、病院で検体を採取した検体を業者に引き渡します。その後、契約相手方施設で、臨床検査（役務の履行）が行われ、後日書類にて検査結果を書面で受領しています。</p> <p>○ 当時のマスク品薄の時期の業者見積を参考にして予定価格を算出しています。そのため、現在のマスクの取得可能価格よりは多少高くなっています。</p> <p>○ いいえ。一般的な布マスクであり、医療用のマスクではありません。</p>

	<p>3 有価物売払い（那覇）</p> <p>○ 有価物の売払いは毎年あるのか。</p> <p>○ 予定価格を超えない場合はどうするのか。</p> <p>○ 有価物の売払いの仕様書にある鉛屑（自動車用、産業用バッテリー）はどのような状態で売払っているか。</p> <p>4 発動発電機撤去（那覇）</p> <p>○ 撤去した発動発電機の最終処分はどの様にしたのですか。</p> <p>○ 落札率が低いのは、新規参入業者が契約の実績作りを目的として利益率を落として入札したと考えていいのか。</p> <p>5 ベース1台（那覇）</p> <p>○ ベースは、規格品ですか。</p>	<p>○ 入札となる規模の有価物売払いは、年に1回程度です。</p> <p>○ 予定価格を超えない場合は、再入札を行っています。</p> <p>○ 鉛屑（自動車用、産業用バッテリー）については、バッテリーを車両から降ろしたそのままの状態を保管し、売払っています。理由については、バッテリーを安全に分解し、分別する専門技術を有する隊員を部隊では有していないためです。</p> <p>○ 仕様書に記載のとおり、発動発電機を取り外し基地内の指定場所に置いています。今後、有価物として売払える場合は、売払いますが、売払いが不可能であった場合は、産業廃棄物として処分致します。</p> <p>○ はい。そのように考えます。</p> <p>○ ベースは、クレーン車にカウンターウエイトを取り付けるための役割を果たす土台であり、既製品です。</p>
--	---	---

	<p>○ ベースは、部隊で保有していなかったのですか。</p>	<p>○ 部隊で保有していましたが、修繕不能であったため新たに購入致しました。</p>
--	---------------------------------	---